

PL-FK000

取扱説明書

PL-FK000 (FDD ユニット) は(株)デジタル製パネルコンピュータシリーズ (以下 PL と称します) 用のフロッピーディスクドライブユニットです。本ユニットは、PL のソフトウェア開発およびメンテナンスを行うことを目的としています。3.5 インチフロッピーディスクドライブを搭載しています。

対応機種：PL-5700 シリーズ、PL-3700 シリーズ

警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ PL-FK000 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ PL-FK000 を取り付ける際には、本書の「3. 取り付け」をよく読んで、正しく取り付けてください。

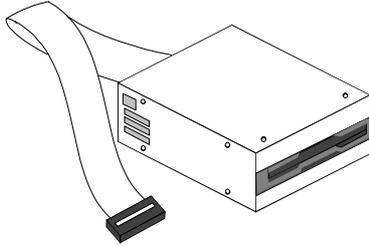
故障しないために

- ・ PL-FK000 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。
- ・ PL-FK000 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。

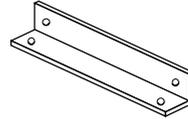
梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-FK000 本体



取り付け金具 2枚



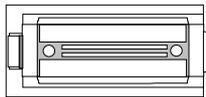
取り付けネジ 8本



リアメンテナンスハッチ取り付け用ネジ（プラスチックネジ）4本

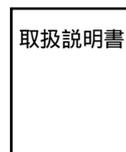


ケーブルクランプ 1個



取扱説明書 1枚（本書）

PL-FK000 取扱説明書



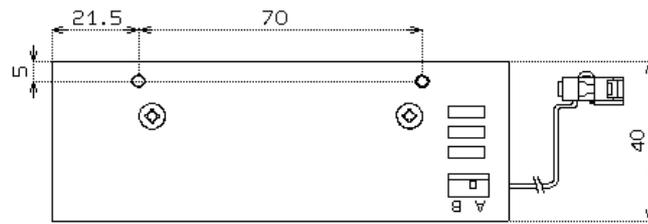
品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

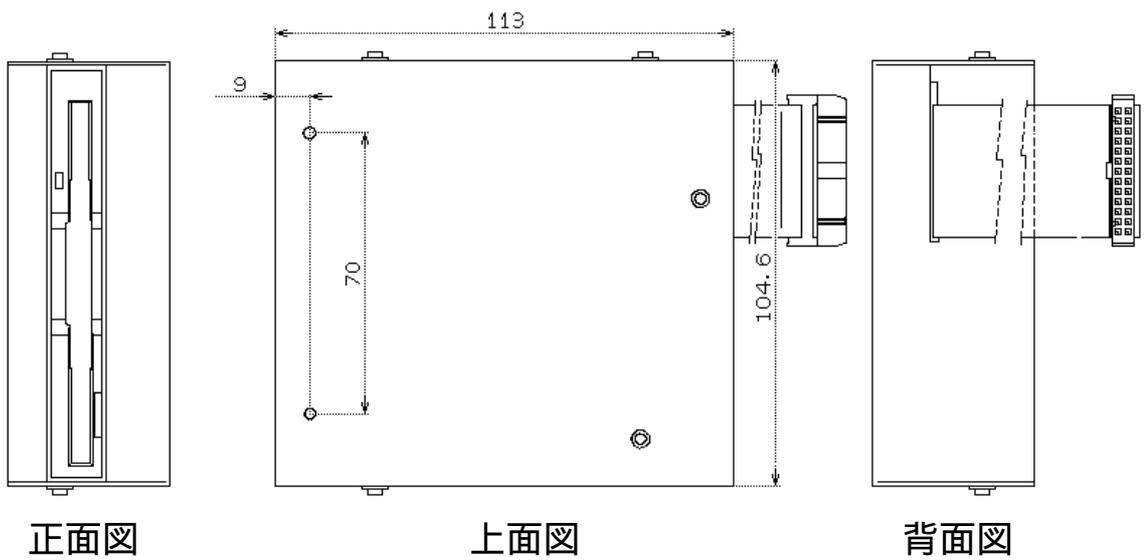
性能仕様

動作モード	2MBモード記録再生	1MBモード記録再生
使用デバイス (3.5インチ)	高密度用(2HD)	ノーマル密度用 (2DD)
アンフォーマット データ容量	2Mバイト	1Mバイト
データ転送速度	500kビット/秒	250kビット/秒
ディスク回転速度	300rpm	
トラック密度	135tpi	
トラック間移動時間	3ms(最小)	
消費電流	起動時	0.64A
	R/W時	0.26A
	待機時	0.002A

外観図



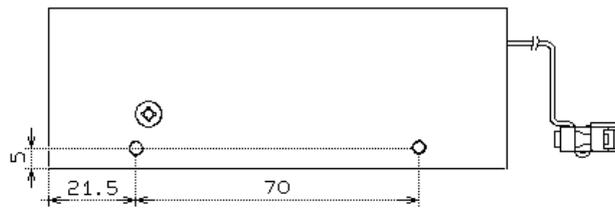
側面図



正面図

上面図

背面図



側面図

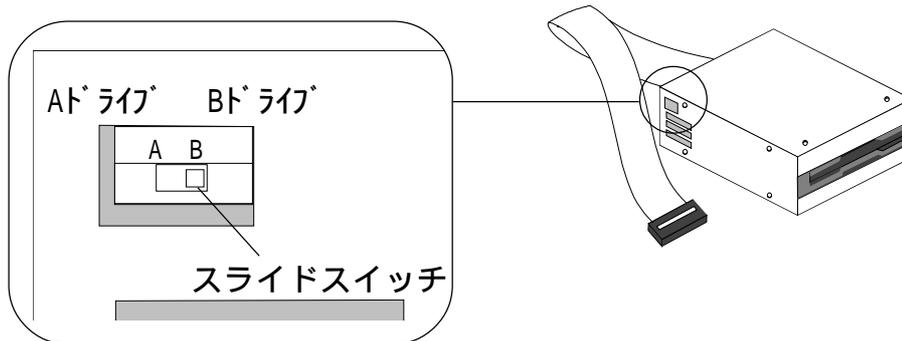
ケーブル長 : 350 ± 10mm

2 使用上の注意事項

PL-FR000 と併用する場合

PL-FK000 と別売りオプションボード PL-FR000 (PL-5700 シリーズ用フラッシュ ROM ボード) を同時に使用し、PL-FR000 をブートドライブ (A ドライブ) として使用する場合、以下の手順で本機を B ドライブに設定変更してください。

PL-FK000 側面のスライドスイッチを下図の位置に切り替えます。



電源を投入した後、本書の「4. ハードウェアセットアップ」の手順に従いセットアップユーティリティを起動してください。カーソルキーおよび【+】【-】キーにて「Diskette A」、「Diskette B」を「1.44MB, 3½"」に変更してください。



- ・ セットアップ以外の作業を行う場合は、必ず PL の電源を切ってから行ってください。
- ・ 出荷時は A ドライブに設定されています。
- ・ PL-FR000 を使用されない場合は PL-FK000 を A ドライブとしてご使用ください。
- ・ PL-FK000 は開発、メンテナンスを目的に設計されています。したがって、PL-FK000 を機器組込用に使用する場合、PL 本体の耐環境性能仕様を満足することはできません。使用環境には充分ご注意ください。

3

取り付け

PL-FK000 の取り付けは、取り付け金具の取り付け方により、裏面取り付け(PL-5700本体リアメンテナンスハッチ取り付け)または前面取り付け(PL-FK000 単独での盤面取り付け)の2とおりから選択できます。

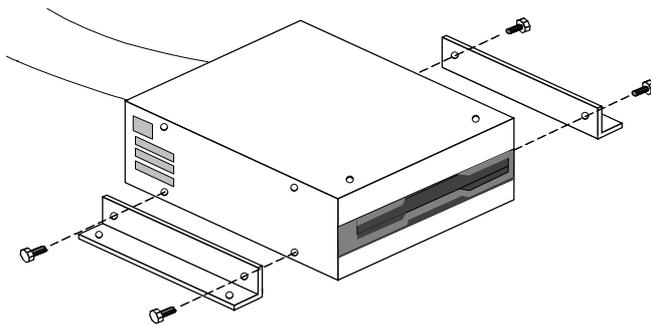
以下の方法で PL-FK000 を PL へ取り付けてください。



- 感電の恐れがありますので、必ずPLの電源を切ってから作業を行ってください。

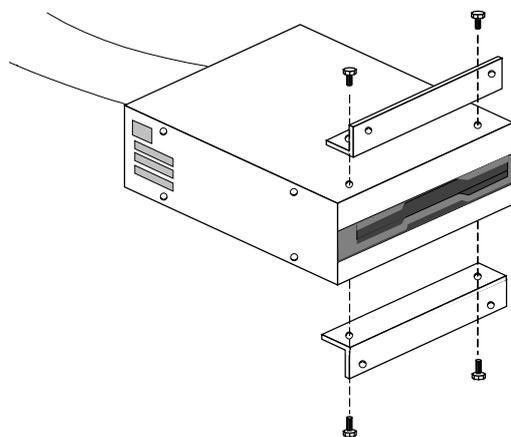
取り付け金具の取り付け

- 裏面取り付けの場合(PL-5700 シリーズのみ)



PL-FK000 の両側面に、付属の取り付けネジ(4本)により、取り付け金具を取り付けます。

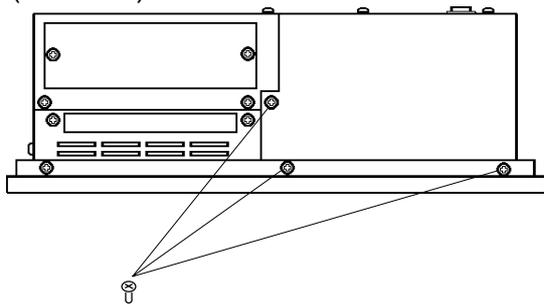
- 前面取り付けの場合



PL-FK000 の上下面に、付属の取り付けネジ(4本)により、取り付け金具を取り付けます。

PL-5700 本体への取り付け

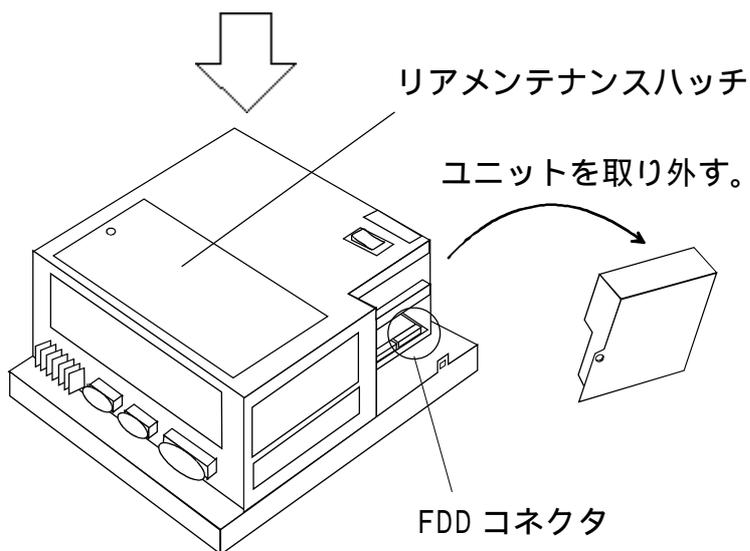
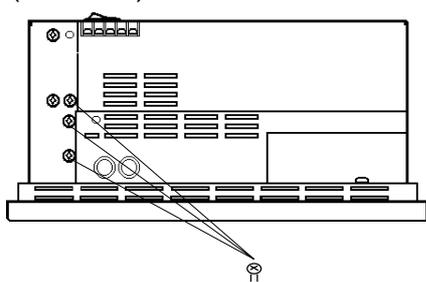
(PL 底面)



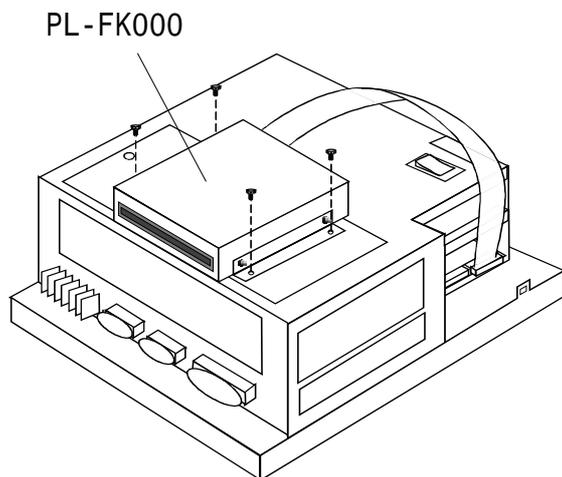
PL-5700 側面と底面のネジ6カ所を外し、ダミーユニットまたはPL-MC000(別売:PL-5700シリーズ用メモリカードI/Fユニット)を取り外します。

図はPL-5700(3スロットタイプ)です。

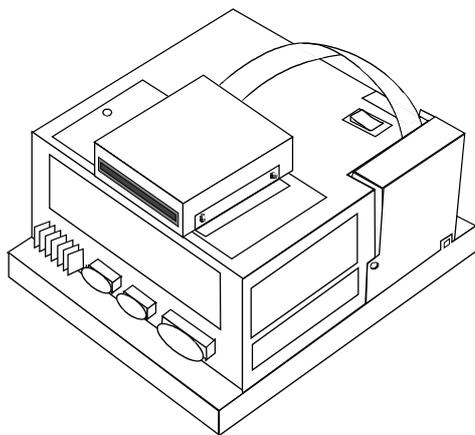
(PL 側面)



PL-FK000 のケーブルを、PLのFDD コネクタに差し込みます。



PLのリアメンテナンスハッチに付属のプラスチックネジ（4本）でPL-FK000を固定します。



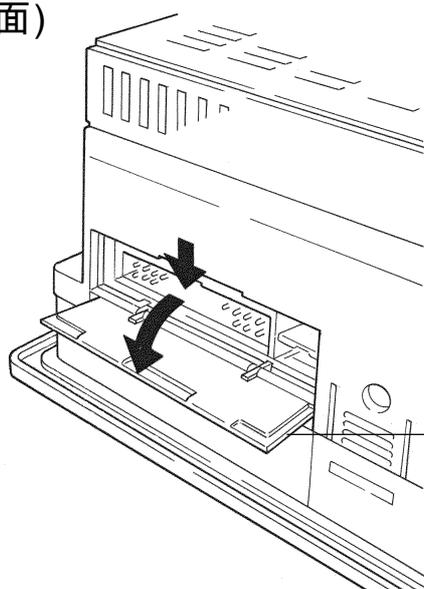
PL-FK000のケーブルを図の位置から取り出し、ダミーユニットまたはPL-MC000（別売：PL-5700シリーズ用メモリカードI/Fユニット）を取り付けます。上から差し込むように取り付けてください。取り付け後、PL側面と底面のネジ6カ所を元通りに止めます。



- ・リアメンテナンスハッチへの取り付けには、拡張スロット挿入ボードとのショートを避けるため、必ず付属のプラスチックネジを使用してください。
- ・ケーブルのはさみ込みにご注意ください。破損の原因となります。
- ・余分なケーブルは、AC100V入力部やAC電源ケーブルに近づかないよう、必要に応じて付属のケーブルクランプで固定してください。
- ・PL-MC000（別売：PL-5700シリーズ用メモリカードI/Fユニット）を使用する場合は、メモリカードコネクタ部にケーブルが接触しないよう注意してください（メモリカードが装着できなくなる可能性があります）。

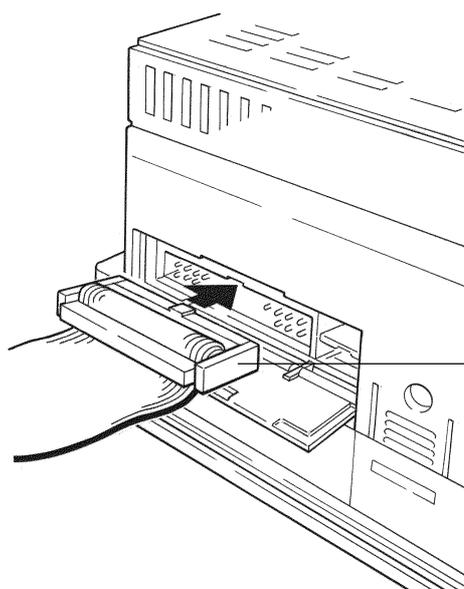
PL-3700 本体への接続

(PL 側面)



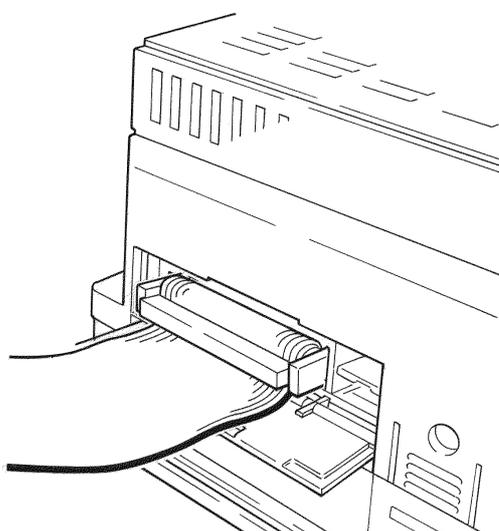
PL 側面の FD コネクタハッチを開けます。

FD コネクタハッチ



FD インターフェイスの凸部
をコネクタの切りかけ部に
合わせるように接続します。

FD インターフェイス



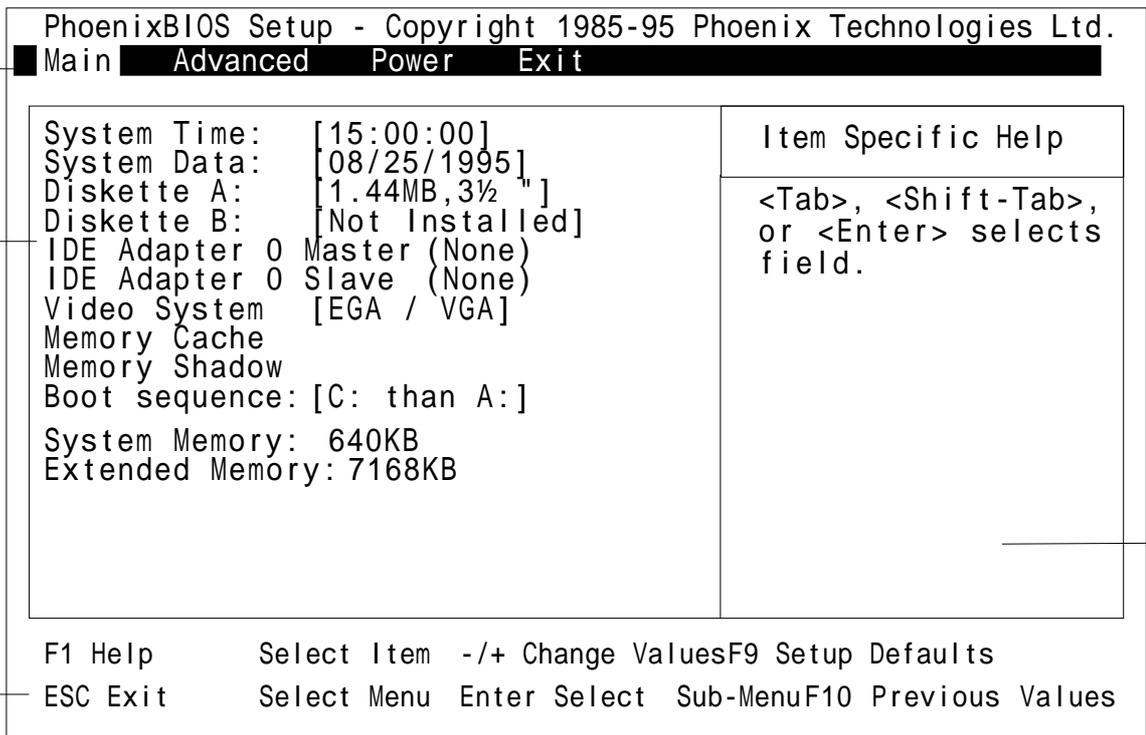
ハードウェアセットアップ

PL-5700 ハードウェアセットアップ

PLの電源をONします。

画面左下に“Press <F2> to Enter SETUP”のメッセージが表示されたら、[F2]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動し、次のような画面が表示されます。



キー操作一覧

セットアップで使用するキーの一覧です。

ヘルプ表示エリア

カーソルを合わせた項目の詳細が表示されます。

システム設定エリア

各メニューで設定するシステム項目が表示されます。

メニューバー

Main, Advanced, Power, Exit の4つのメニューがあります。



・ セットアップユーティリティでのキー操作を以下に示します。

[F1] : セットアップユーティリティ全体の説明を表示します。[] [] キーで表示がスクロールされます。

[] [] : カーソルを移動させ、メニュー項目を選択します。

[-] [+] : カーソルを合わせた項目の設定内容を変更します。

[F9] : システム表示エリアの項目を初期設定値にします。

[ESC] : Exit メニューを表示します。

[] [] : メニュー画面の切り替えを行います。

[Enter] : のついた項目にカーソルが合っているときに[Enter]キーを押すと、サブメニューを表示します。サブメニュー画面で[ESC]キーを押すと、メインメニューに戻ります。

[F10] : システム表示エリアの項目を CMOS に記憶されている設定値にします。



- ・ PL-FR000 と併用する場合は「Diskette A:」および「Diskette B:」を、ドライブ「1.44MB, 3½」に設定してください。

“Diskette A:” にカーソルを合わせ、【+】【-】キーでドライブ“1.44MB, 3½” を選択します。

[ESC]キーを押してExitメニュー画面に入ります。

“Save Changes & Exit” にカーソルを合わせ[Enter]キーを押します。

PhoenixBIOS Setup - Copyright 1985-95 Phoenix Technologies Ltd.	
Main Advanced Power Exit	
Save Changes & Exit Discard Changes & Exit Get Default Values Load Previous Values Save Changes	Item Specific Help Exit after writing all changed SETUP item values to CMOS.
F1 Help	Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults
ESC Exit	Select Menu Enter Execute Command F10 Previous Values

PL-3700 ハードウェアセットアップ

PLの電源をONにします。

"486 DX4 processor detected..." のメッセージが表示されたら、
[Ctrl] + [Alt] + [S]キー を押し続けます。
セットアップユーティリティが起動し、次のような画面が表示されます。

Phoenix SETUP Utility(Version 1.00)					
(C)Phoenix Technologies, Ltd. 1985, 1994 All Rights Reserved					
					Page 1 of 3
Standard System Parameters					
System Time:	14:41:23				
System Date:	May 15,1998				
Diskette A:	3.5", 1.44MB	Cyl	Hd	Pre	LZ
Diskette B:	Not Installed	375	4	-1	375
Hard Disk 1:	Auto 1				16 11
Hard Disk 2:	Not Installed				
Base Memory:	640 KB				
Extend Memory:	15360 KB				
Video Card:	VGA/EGA				
CPU Speed:	Fast				
				NumLock on at boot:	NO
				Quick boot:	Off
Esc		F2		+/-	PgUp/Dn
Menu		Sys Info	Field	Value	Page

キー操作一覧

キー操作一覧

セットアップユーティリティで使用するキーです。詳細を以下に説明します。

Esc Menu		F2 Sys Info	Field	+/- Value	PgUp/Dn Page
-------------	--	----------------	-------	--------------	-----------------

[Esc Menu]

[Esc Menu]を選択すると、Exitメニューを表示します。

Phoenix SETUP Utility(Version 1.00) (C)Phoenix Technologies, Ltd. 1985, 1994 All Rights Reserved					
					Page 1 of 3
Standard System Parameters					
System Time:	14:41:23				
System Date:	May 15, 1998				
Diskette A:	3.5", 1.44MB				
Diskette B:	Not Installed				
Hard Disk 1:	Auto 1				
Hard Disk 2:	Not Installed				
Base Memory:	640 KB				
Extend Memory:	15360 KB				
Video Card:	VGA/EGA				
CPU Speed:	Fast				
** Exiting SETUP **					
ESC	Continue with SETUP.				
F4	Save values, exit SETUP, and reboot.				
F5	Load default values for all pages.				
F6	Abort SETUP without saving values.				
Esc Menu		F2 Sys Info	Field	+/- Value	PgUp/Dn Page

Esc Continue: [Esc Continue]を選択すると、Exitメニューを閉じます。

F4 Save : [F4 Save]を選択すると、現在表示されている値をCMOSに保存し、システムを再起動します。

F5 Defaults : [F5 Defaults]を選択すると、CMOSにデフォルト値を書き込みます。

F6 Abort : [F6 Abort]を選択すると、設定値をCMOSに保存せずにSETUPを終了します。

[F2 Sys Info]

システム情報を表示します。

[Field]

カーソルを移動させ、メニュー項目を選択します。

[-/+ Value]

カーソルを合わせた項目の設定内容を変更します。

[PgUp/PgDn Page]

画面のページ替えを行います。

操作手順

1. [Diskette A:]にカーソルを合わせ(+)(-)キーで[3.5",1.44MB]を選択します。



- ・ PL 本体に FDD ユニットの接続していない場合か、または取り外す場合は [Diskette A:] を [Not Installed] に設定してください。なお、Default 値は、[3.5", 1.44MB] となっております。

2. [ESC] キーを押して、EXIT メニュー画面に入ります。

3. [F4] キーを押して、設定を保存します。



- ・ PL の起動時は FDD ユニットから FD を取り出してください。

PL 本体は、FD が挿入されていると FDD ユニットから OS を読み込もうとしますので、正常に立ち上がりません。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

T E L (06)613-1101 (代)

F A X (06)613-5888